

文献調査結果の取りまとめに向けて 国の審議会で技術的/専門的な議論が始まりました！

11月29日に「総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会 原子力小委員会 第21回地層処分技術ワーキンググループ（以下、地層処分技術WG）」が開催されました。

総合資源エネルギー調査会 原子力小委員会 放射性廃棄物WGにおいて、文献調査の取りまとめに向け、特に技術的/専門的な事項については、透明性あるプロセスの中で丁寧に評価していくことが重要との認識が示されました。その議論の場として、地層処分技術WGが5年ぶり※に再開されました。本WGでは、NUMOが整理する「文献調査段階の評価の考え方（案）」について、技術的/専門的な観点から委員の皆さまに議論・評価を行っていただく予定です。NUMOは、文献調査の評価が地域住民の方々にとって有益な情報となるよう、地域に寄り添った情報発信に努めてまいります。

※「科学的特性マップ」の策定時にも、その具体的要件・基準等について地層処分技術WGで審議されました。



----- NUMOの説明内容 -----

- 文献調査段階の評価の考え方（案）
 - ①「最終処分法で定められた要件」の具体化
 - ②具体化した項目ごとの基準案の一部
- 寿都町・神恵内村の文献調査の現状

地層処分技術WG とは？

経済産業省の諮問機関である原子力小委員会の下に設置された、地質や土木などの知見を有する12名の専門家から構成される審議会です。

● 各段階の調査と次段階への要件の概要

- 段階的に、調査する範囲を絞り、より詳細な調査を行う。
- 先に、広い範囲を調べて火山や活断層などを避け、次に、地下の状況が適している場所を選んでいく。

	文献調査	概要調査	精密調査
調査の概要	<ul style="list-style-type: none">● 机上調査● 既存の文献・データによる調査	<ul style="list-style-type: none">● 地上からの調査● ボーリング調査● 物理探査など	<ul style="list-style-type: none">● 地下施設での調査・試験
次段階への要件の概要	概要調査地区選定のための要件：以下を避ける。 <ul style="list-style-type: none">● 火山や活断層など● 鉱物資源、未固結堆積物	精密調査地区選定のための要件：以下を避ける。 <ul style="list-style-type: none">● 火山や活断層など● 坑道の掘削への支障● 地下水の流れなどの著しい悪影響	施設建設地選定のための要件：以下の場所を選ぶ。 <ul style="list-style-type: none">● 地層の性質が適している。● 地下水やその流れが障害を及ぼすおそれがない。

最終処分法第6条
に規定

最終処分法第7条
に規定

最終処分法第8条
に規定

地層処分技術WGで
使用した資料は
こちら



<https://www.numo.or.jp/topics/202222112917.html>

P.6

委員の方からいただいた主なご意見

要件の具体化について

- 文献調査で評価できなかった問題に対しては、概要調査でどのようなデータを取得することで解決できるのかを示すことを検討してはどうか。

今後のWGでの検討の進め方について

- 法定要件ではない地下水流動や地史などは、その他の評価として取り扱うことを検討してはどうか。

情報発信について

- 検討の枠組みを委員会で共有することは、委員にとって重要であるのは勿論のこと、地域の皆さまにどういった検討がなされているのかをご理解いただく上で有用。

● ● ● 国内外の叡智を結集して ～国際会議に参加～ ● ● ●

11月14日～17日、米国原子力学会が主催する「高レベル放射性廃棄物管理に関する国際会議」がフェニックス（アメリカ・アリゾナ州）で開かれ、NUMOの職員4名が「三次元核種移行解析における統計的サンプリング手法の妥当性確認」「仮想地質環境モデルを用いた処分場の配置設計の検討」等の技術開発成果の発表を行いました。会議への参加を通じて各国の参加者と意見交換でき、技術者間のネットワークをさらに広げることができました。



▲NUMO職員による発表の様子

「WOMAN EXPO 2022 Winter」にて地層処分をご紹介しました



11月26日に開催された「WOMAN EXPO 2022 Winter」（主催：日経BP社）にブース出展し、当日は298名の方々にご参加いただきました。地層処分について、クイズを楽しみながら知っていただく機会となり、「私たちにできる事は何か、しっかりと考えたい」との声もいただきました。